

第13回 2009年3月27日

演題 「Why Western and Eastern ethics do and do not mix?」
演者 Gregory A. Plotnikoff, MD, MTS, FACP
所属 Medical Director, Penny George Institute for Health and Healing Abbott Northwestern Hospital

第12回 2009年1月30日

演題 「臓器売買 その驚くべき現実 -誰がそれを非難できるのか-」
演者 粟屋 剛
所属 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 法医生命倫理学講座 生命倫理学分野 教授

第11回 2008年11月28日

演題 「医師が患者から学ぶもの」
演者 田中 祐次
所属 東京大学医科学研究所 先端医療社会コミュニケーションシステム社会連携研究部門 特任助教

第10回 2008年9月19日

演題 「ES細胞、iPS細胞、体性幹細胞 -再生医療にまつわる生命倫理-」
演者 岡野 栄之
所属 慶應義塾大学医学部 生理学教室 教授

第9回 2008年7月4日

演題 「Ethics and Clinical Research : How Much Risk Should We Accept?」
演者 Reidar Lie
所属 NIH Clinical Center

第8回 2008年5月23日

演題 「死の臨床における一考察 -スピリチュアル・ペインをめぐって-」
演者 アルフォンス デーケン
所属 上智大学 名誉教授

第7回 2007年11月9日

演題 「尊厳死 -あなたはどうか考えますか-」
演者 粟屋 剛
所属 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 法医生命倫理学講座 生命倫理学分野 教授

第6回 2007年9月14日

演題 「生と死のケアを考える -医療におけるスピリチュアル-」
演者 Carl Becker
所属 京都大学大学院人間・環境学研究科 教授

第5回 2007年7月30日

演題 「インフォームド・コンセント・・・どう考えるか」
演者 Brian Taylor Slingsby
所属 School of Medicine and Health Science, George Washington University / 慶應義塾大学医学部 特別招聘講師(非常勤)

第4回 2007年5月18日

演題 「ターミナルケアを考える -被曝治療の記録より-」
演者 岩本 裕
所属 NHK報道局科学文化部

第3回 2007年3月29日

演題 「Individual and Organizational Ethics」
演者 Suzanne Shale
所属 Centre for Medical Law and Ethics King's College

第2回 2007年2月1日

演題 「着床前診断を考える」
演者 吉村 泰典
所属 慶應義塾大学医学部 産婦人科学教室 教授

第1回 2006年9月15日

演題 「危機の時代の生命科学と宗教文化: 生命の価値と文化の差異」
演者 島園 進
所属 東京大学文学部 教授